

事業コード	H21-農-継-5		区 分	国庫補助 県単独
事業名	林道事業		部局課室名	農林水産部 水と緑の森づくり課
事業種別	フオレスト・コミュニティ総合整備事業		班 名	治山・林道班 (tel) 018-860-1945
路線名等	米代線		担当課長名	池田光晴
箇所名	八峰町峰浜石川		担当者名	加賀貞寿
総合計画との関連	政策コード	08	政 策 名	自給力、需要創造力を高めよう農林水産業
	施策コード	05	施 策 名	森林整備から木材加工・販売までの一貫した体制の構築
	指標コード	02	施策目標(指標)名	林道・基幹作業道密度(累計)

1. 事業の概要

事業期間	H05 ~ H24 (20年)		総事業費	171.5億円	国庫補助率	1/2
事業規模	森林基幹道 幅員7.0m、延長29,934m、利用区域面積10,407ha					
事業の立案に至る背景	米代川右岸の3市町の白神山地・森林地帯を連絡し、森林の適切な整備による公益的機能の高度発揮と林業生産性の向上を図るとともに、森林の総合利用や生活環境の改善に資するなど、地域の骨格となる林道として開設する。					
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備実施のための基盤整備 ・森林施業の集約化や機械化による効率的な森林施業の実施 ・林業生産コストの低減 ・集落間の連絡道として活用 					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事業費		19,324,291	17,147,708	-2,176,583	
	経費内訳	工事費	19,324,291	17,147,708	-2,176,583	
		用補費	0	0	0	
		その他	0	0	0	
	財源内訳	国庫補助	9,662,145	8,573,854	-1,088,291	
		県 債	6,957,000	6,173,000	-784,000	
その他		1,932,429	1,714,770	-217,659		
一般財源		772,717	686,084	-86,633		
事業内容		幅員7.0m 延長30,540m トンネル5本 橋りょう13基	幅員7.0m 延長29,934m トンネル5本 橋りょう13基	延長-606m	コスト縮減のため、線形を見直し、延長、事業費を縮減した。	
事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・施工済延長22.623m、 全体計画延長の76% ・実施事業費14,247,708千円 全体事業費の 83% * H 2 0 年度末現在 					
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・当該林道は林業地域連絡林道であるため、利用者の走行性を確保した線形とするが、トンネル、橋梁の特殊構造物について、配置、形状、工法において、最大限のコストの縮減を図ると共に、構造物の計画的な施工を図ることにより、早期の開通及び事業効果の発揮を目指す。 					
関連する計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・「米代川地域森林計画」に林道整備路線として、当該路線が計画されている。 					
情勢の変化及び長期継続の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止森林吸収源対策として、これまで以上の森林の適切な整備が望まれている。 また、間伐等森林整備のための基盤整備が急務である。 ・白神山地に隣接する市町での、延長29,934mの連絡道路として、地域振興に重要な役割を果たすことから、継続して、早期完成を目指す必要がある。 					
事業効率把握の手法及び効果	指 標 名	林道・基幹作業道密度(累計)				
	指 標 式	林道・基幹作業道延長/民有林面積				
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無	
	目 標 値 a	6.5 m/ha		データ等の出典	林道事業実績報告	
	実 績 値 b	6.4 m/ha				
達成率 b/a	98.5 %		把握の時期	平成21年 4 月		

前回評価結果等	選定または継続	改善	見直し	保留または中止
	指摘事項			
	無し			
	指摘事項への対応			
無し				

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点		
必 要 性	あきた 2 1 総合計画での林道・基幹作業道密度(累計)では効果達成率が98.5%となっている。 計画路線の利用区域内の森林は人工林率60%であり、米代川流域の平均人工林率64%にわずかに満たないが、適正な森林整備が必要となっている。 世界遺産に指定されている「白神山地」に隣接しており、日本海側と内陸を連絡する観光ルート(短絡路線)としての期待が高まっており、早期の完成が望まれている。	11 点		
緊 急 性	利用区域内の森林は成熟期を迎えており(4~9齢級蓄積 55%、10齢級以上 43%) 本路線を利用して、緊急に間伐、収入間伐を行う必要がある。 森林整備事業と連携しており、引き続き間伐を推進していく必要がある。	15 点		
有 効 性	本路線が一部供用を開始したことにより、間伐材等の搬出が容易になり、木製ガードレールの施工等、木材の活用・有効利用が図られている。 間伐等森林整備予定量(H16~H24)443haに対して、実績が440ha(99%)となっている。 災害時の迂回路として利用できる。	10 点		
効 率 性	事業の費用便益比は 1 . 8 4 である。 ・総費用 22,625,309千円 ・総便益 41,628,562千円 コスト縮減検討を行い、路線の線形を見直して、2,176,583千円(11%)の事業費を縮減した。	28 点		
熟 度	施設の管理体制及び維持管理に十分配慮されている。 全体計画や詳細設計及び工事実施において、環境保全への配慮がなされている。	23 点		
判 定	ランク () 間伐対象森林の蓄積(4~9齢級)が人工林の55%に達しており、これらの森林整備実施に効果的であることから、引き続き事業実施すべきである。	87 点		
総 合 評 価	継続	改善して継続	見直し	中止
	各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度は高く、事業は継続して実施するべきと考える。			

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

森林整備の促進と森林施業の効率化を図る基盤として、重要な役割を担っており、計画どおりの完成を目指して事業を実施する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 林道事業

事業コード(H21-農-継-5)
箇所名 (八峰町峰浜石川)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	上位計画への貢献度					
	あきた21総合計画	事業の効果達成率が100%以上(事業評価)	5	3		
		事業の効果達成率が80%~100%未満(事業評価)	3			
		事業の効果達成率が80%未満(事業評価)	1			
	資源の成熟度					
	人工林率	人工林率:流域平均値以上	5	3		
	人工林率:流域平均値以下	3				
社会情勢における必要性						
社会経済情勢変化による需要変化	需要は増大している	5	5			
	需要に特に変化はない	3				
	需要は低下している	1				
	計		15	11		
緊急性	森林整備状況					
	要整備森林の占有度	利用区域の4齢級以上の蓄積が70%以上	10	10		
		利用区域の4齢級以上の蓄積が70%未満	5			
	他事業との関連					
他事業との連携	他事業と連携しており、緊急性が高い	5	5			
	他事業と連携が無く、緊急性も低い	3				
	計		15	15		
有効性	開設による有効性					
	間伐材等の活用	活用可能な全てに活用	5	3		
		一部使用	3			
		使用なし、または、検討中	1			
	森林整備計画					
		森林整備計画に対する達成率100%以上	10	7		
	森林整備計画に対する達成率80%~100%未満	7				
	森林整備計画に対する達成率50%~80%未満	5				
	森林整備計画に対する達成率50%未満	1				
	計		15	10		
効率性	事業の投資効果					
	費用対効果指数(B/C)	B/C=1.45以上	10	10		
		B/C=1.0以上1.45未満	5			
		B/C=1.0未満	0			
	コスト削減の検討					
	コスト削減計画	実施している	10	10		
		今後実施する予定で検討中	5			
		実施していない	0			
	計画の効率性					
	設定工期	設定工期内に余裕を持って完成が見込まれる(80%)	5	3		
	設定工期に完成が見込まれる	3				
	設定工期を更に延長する必要がある	1				
事業費の増減	当初計画事業費以内	5	5			
	30%未満の増加	3				
	30%以上の増加	1				
	計		30	28		
熟度	地元との合意形成の状況					
	事業関係者、関係機関との協議・調整	基本事項が確認済	5	5		
		協議中であるが、特段の問題はない	3			
		今後協議する予定	1			
	施設の管理体制					
		維持管理費を毎年予算化し、適切に管理している	5	5		
		維持管理費を必要な年のみ予算化し、適切に管理している	3			
		維持管理費を予算化していない	0			
	計画の進捗状況					
	事業の進捗状況	計画より進捗している:進捗率100%以上	5	3		
	おおむね計画どおり進捗している:80%~100%未満	3				
	計画より遅れている:80%未満	1				
今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる	5	5			
	課題はあるが、当面進捗に影響がない	3				
	課題解決が困難である	0				
環境との調和への配慮状況						
環境保全への配慮	十分に配慮されている	5	5			
	配慮について検討している	3				
	特に配慮はない	0				
	計		25	23		
合計			100	87		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		